

三豊市総合教育会議（令和元年度第1回）

日時 令和元年8月29日（木）

午後3時00分～

場所 三豊市危機管理センター202会議室

【次第】

1 開会

2 市長挨拶

3 教育長挨拶

4 協議事項

(1) 三豊市教育大綱の策定について

(2) あらゆる学びの場の提供について

- ・母国語教育

- ・映画スクール

- ・地域プロスポーツ団体や地元出身選手との交流

- ・プログラミング教室

- ・環境学習

(3) 三豊市子ども未来応援ネットワーク（仮称）の構築について

(4) その他

5 閉会

【会議資料】

資料1 三豊市教育大綱の策定について

資料2 母国語推進事業

映画スクール

地域プロスポーツ団体や地元出身選手との交流事業

プログラミング教室

環境学習

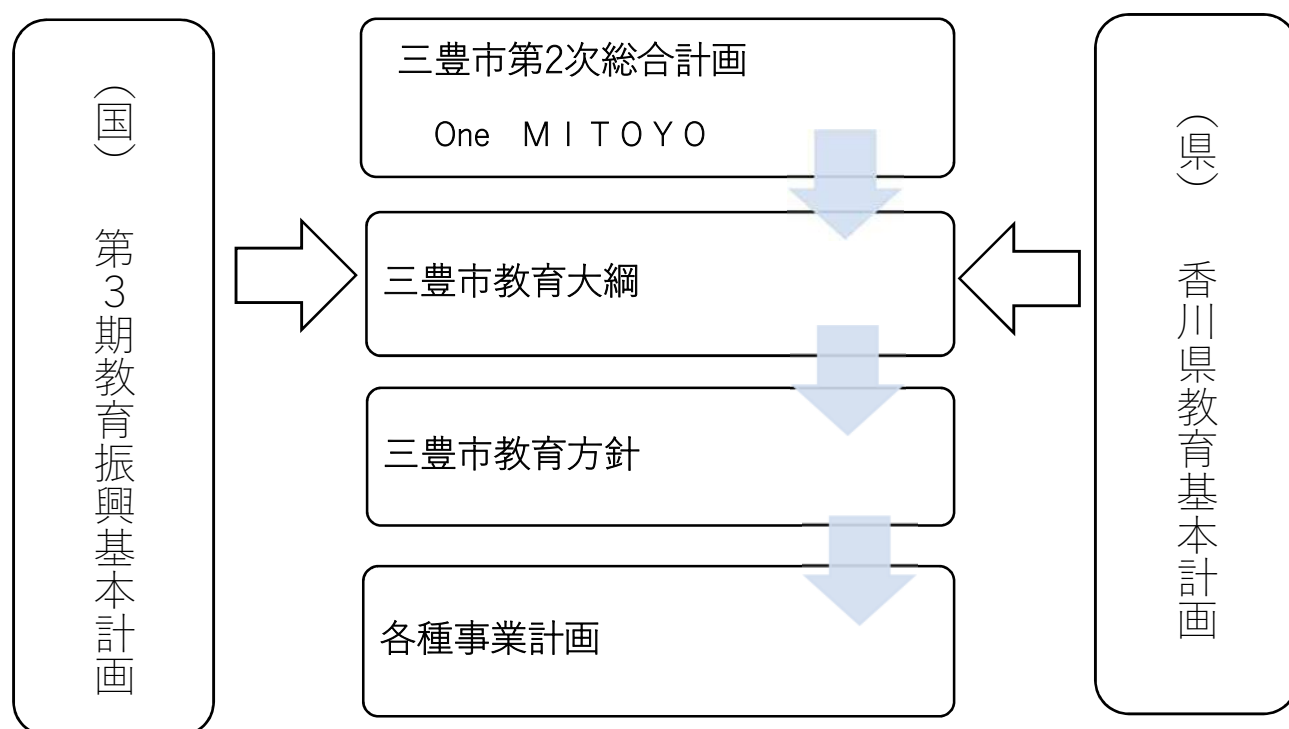
資料3 三豊市子ども未来応援ネットワーク（仮称）の構築

● 大綱策定の趣旨と位置づけ

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づき、地方公共団体の長は、その地域の実情に応じ、当該地方公共団体の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱を定めることとされている。

大綱は、平成 30 年 6 月に策定された、国の「第 3 期教育振興計画」を参酌するとともに、「三豊市第 2 次総合計画 One M I T O Y O」との整合性を図りつつ、市長及び教育委員会で構成する「三豊市総合教育会議」において協議、調整したうえで策定するもので、本市の教育行政を推進するための基本指針となるものである。

(三豊市)



参考 : 国「第 3 期教育振興基本計画」 計画期間：2018～2022 年度

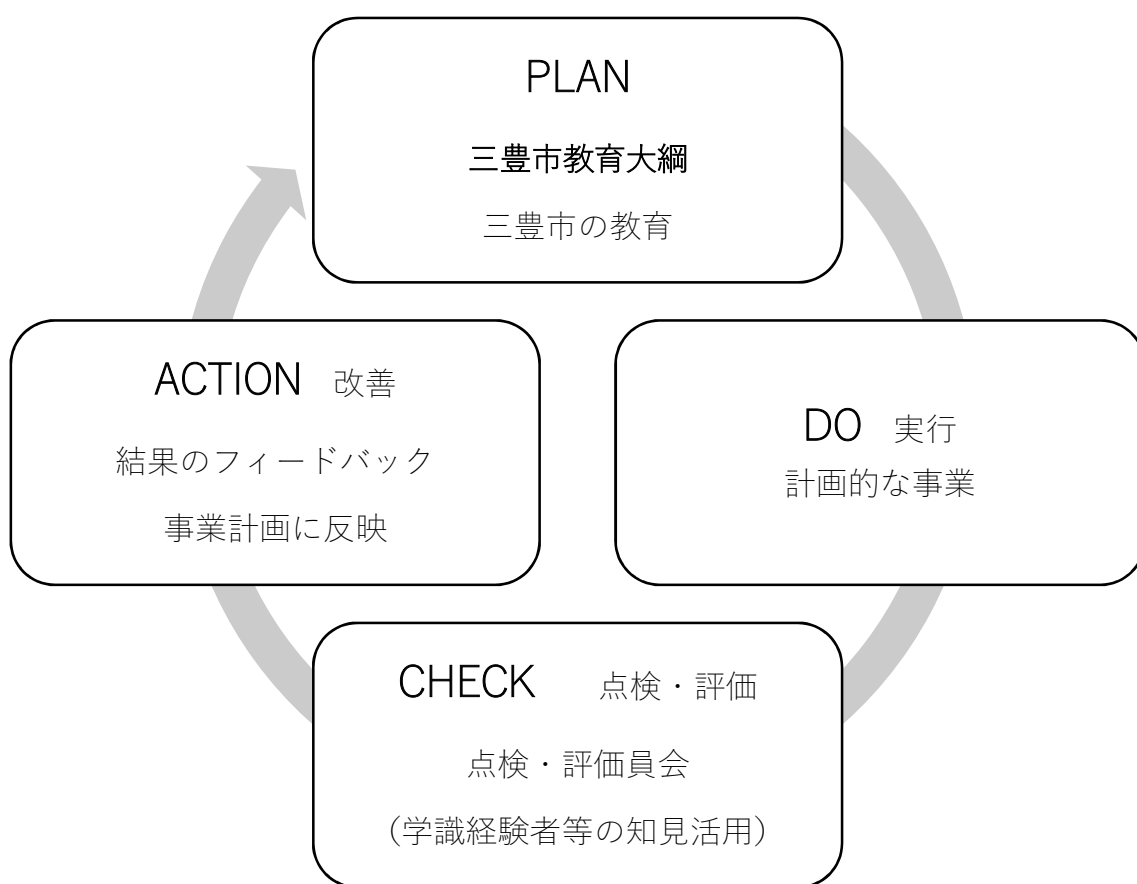
県「香川県教育基本計画」 計画期間：2016～2020 年度（改定作業中）

● 大綱に基づく施策の進行管理

教育大綱に基づく施策・事業の実効性の担保のため、P D C Aサイクルによる進行管理を行い、常に改善を行いながら事業を推進する。

「三豊市教育大綱」に基づき、事務事業が適正に実施されているか、取組状況等について点検・評価を行う。点検・評価については、客観性・公平性を確保するため、教育に関する学識経験を有する者等の知見の活用も図り、点検・評価結果を次年度以降の教育施策の企画立案等、効果的な教育行政の推進に活用する。

三豊市における PDCA サイクル



第2期 三豊市教育大綱 (第2次総合計画と整合)

【目標】

知・体・心を育み、自分らしく暮らせるまち

次世代を担う子供たちの「たくましく生きる力」を育成するため、確かな学力、健やかな体、豊かな心を育む学校教育を推進するとともに、スポーツ分野での可能性を広げるための環境整備や、市民の主体的な生きがいがいづくりにつながる生涯学習の拡充に努める。

さらに、郷土の誇りである歴史と文化の継承を図りながら、多様性を認め合う社会の形成により、すべての人権が守られ、自分らしく暮らせるまちをつくる。

(分野：就学前教育)

●学びの芽生えを育む教育

教育内容の充実や指導者の育成により、幼児が生涯にわたる人格形成の基礎を身につけ、心身ともに健やかに成長するための保育・教育の推進

- 教育内容の充実
- 教職員の資質向上
- 幼保連携の強化
- 特別支援の推進

●施設の充実と適正配置

- 施設の適切な維持管理
- 認定こども園の設置推進 . . . 重点

(幼保一元化の推進)

待機児童の解消や多様な保育ニーズに対応するため、質の高い就学前教育・保育の提供をめざし、就学前の教育・保育を総合的に提供できる体制づくりとして、私立保育所・幼稚園の認定こども園への移行を推進するとともに、公立保育所・幼稚園の認定こども園への移行を推進する。

※ 心身ともに健やかに成長するための保育・教育の推進（三豊市教育方針）

（分野：学校教育）

●確かな学力と豊かな心身を育む教育

児童・生徒が人格形成の基礎と生きる力を身につけ、本市の未来を担う人材として成長できるよう、包括的かつ公平で質の高い教育を提供する。

また、新学習指導要領に基づく学習活動におけるＩＣＴの積極的な活用や、学校給食における食育、地産地消の充実をはかる。

○小中学校での教育内容の充実

○教職員の資質向上

○ＩＣＴを積極的に活用した学習

○母国語教育の推進・・・**重点**

（言語能力の確実な育成）

新学習指導要領で掲げられる「主体的・対話的で深い学び」に基づいた母国語の言語能力の育成を目指す。特に、多様な技能を活用して思いや考えを豊かに表現する力や、言語を通じて自分の思考を深める力、そして他者と協調するための対話力などを含んだ、総合的な言語能力の育成を重視する。これを実現するため、研修会や授業研究など、継続的に教員の授業力や資質の向上させていく施策を

推進する。

○外国語教育の推進 . . . etc

●施設の充実と適正配置

○学校施設の適切な維持管理

○学校の再編整備 . . . 重点項目ではないが、重要と考える

(小中学校の適正規模・適正配置)

少子化が進展する中で、たくましく生きる子どもの育成に向けて、一定規模の集団の中で、多様な考えに触れ、協力し合い、切磋琢磨することを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことができるよう、「三豊市立学校再編基本方針」に基づき、小中学校の適正規模・適正配置を推進する。

※ 「三豊市の誇り」と「生きる力」を身につける教育の推進（三豊市教育方針）

※ 三豊市の幸の豊かさを大切にする安全・安心な学校給食（三豊市教育方針）

(分野：スポーツ)

●スポーツの振興

スポーツの振興に向けて、その中心となるスポーツ推進委員会と体育協会による自主的な活動を支援することで、スポーツによる体力づくりや地域づくりに努める。

○スポーツ人口増加の促進

○体育協会による自主的活動の促進

●スポーツ施設の充実

(省略)

●アスリートの育成支援

トップアスリートが活躍することは、市民に夢や感動、勇気を与える。

優れた素質を持つジュニア期の選手を早期に発掘し、組織的・計画的な育成に取り組む。

○地域クラブチームの育成と支援 . . . 重点

○地域プロスポーツ団体や地元出身選手との交流 . . . 重点

(トップスポーツの活用)

次世代のトップアスリートの発掘・育成をめざし、子どもたちの夢の実現に向けて、本市に練習拠点を有する「カマタマーレ讃岐」等の選手や指導者によるクラブ指導やスポーツ教室等の交流事業を推進する。

また、トップアスリートが持つ高い知識や指導力を活かしてスポーツ指導者のレベルアップに努め、競技スポーツの裾野の拡大とアスリートの育成基盤の強化を図る。

※ 子供の夢を広げ、実現する（三豊市教育方針）

(分野：生涯学習)

●生涯学習の推進

市民一人ひとりが豊かな人生を実現できる生涯学習社会の形成に向けて、「第2期三豊市生涯学習推進計画」に基づき、各種講座・教室の開催や、社会教育団体の活動支援などを行う。

○生涯学習活動の支援

○家庭教育活動の充実

○生涯学習関連施設の有効利用

○未来の夢をかなえる人材育成 . . . **重点**

(地域「人材」の育成と活躍の支援)

多世代活躍社会の推進に伴い、子どもから老人まで多くの市民が、地域の特性を生かした社会貢献を行えるよう支援を行う。

特に、文化・芸術活動等による社会貢献においては年齢等も関係なく幅広い活動が見込まれることから、今後策定する「三豊市文化振興計画」を通じ市民の交流や学習の場の確保を図り、「人材」の育成を支援するとともに、生まれた「人材」による地域社会の活性化を図る。

※ 生涯にわたって学び、学習成果を地域社会に活かす市民力都市・三豊

(三豊市教育方針)

●公民館活動の充実 (省略)

●図書館機能の充実 (省略)

(分野：郷土歴史・文化)

●文化芸術活動の促進 (省略)

●文化芸術イベントの充実

市民の文化芸術への興味・関心を高めるため、多様な文化芸術を鑑賞する機会の拡充に取り組む。

○文化会館における事業の充実 . . . **重点**

(文化・芸術の創造・育成と鑑賞機会の充実)

三豊市文化会館（マリンウェーブ）を指定管理者制度の活用により、文化・芸

術の育成・発信の拠点として運営して行く。三豊市文化協会をはじめとする様々な文化・芸術団体の活動の場として、また、地域からの文化・芸術活動の発信の場として活動を支援して行く。

自主活動として本物の文化・芸術活動に触れる場の確保として著名なアーティストを招き、市民の文化・芸術活動の裾野を広げて行く。

●文化財の保存と活用、歴史の継承 （省略）

（分野：青少年育成）

●青少年の健全育成

青少年が次世代の担い手として心身ともに健やかに育成されるよう、学校・地域・警察や青少年健全育成に携わる各種団体等との連携・情報の共有化を図り、全市的な体制整備のもと「地域の少年は、地域で守り育てる。」を活動目標に青少年の健全育成を図る。

○街頭パトロールや街頭補導活動の推進

○広報キャンペーンや補導体験活動の実施 . . . etc

※ 地域で見守り・地域に教わり・地域で育てる（三豊市教育方針）

（分野：人権尊重社会）

●人権尊重社会の形成

多様化する人権問題に向き合い、相互の理解をもって、一人ひとりの人権が等しく尊重される社会の実現をめざす。

- 市民意識による啓発活動の推進
- 多様な性を認め合う社会づくり
- 人権課題解決に向けた活動の促進
- 人権と福祉のまちづくり
- 人権教育の推進（省略）
- 活動拠点の充実（省略）

※ 人権が尊重される住みよい三豊市の実現を目指した人権教育の推進

（三豊市教育方針）

（分野：男女共同参画社会）

●女性活躍の推進

男女が互いに人権を尊重しつつ、責任を分かち合い、性別にかかわらずその個性と能力を発揮できる社会の実現をめざす。特に、それぞれのワーク・ライフ・バランスの重要性を広く市民に知ってもらうことで家庭・地域生活と職業の両立を促す。

- 男女共同参画に向けた意識改革の推進
- 家庭・職場・地域における男女共同参画の促進
- 政策・方針決定過程への助成参画の促進
- あらゆる暴力の根絶（省略）

● 大綱策定のスケジュール

日時	内容	内容
令和元年 8 月 2 9 日（木）	第 1 回総合教育会議	大綱の策定について
令和元年 1 0 月	第 2 回総合教育会議	大綱の素案について
令和元年 1 2 月	パブリックコメント	
令和 2 年 2 月	第 3 回総合教育会議	大綱の策定

三豊市教育大綱



平成28年2月

香川県三豊市

基本理念

原点回帰

「原点回帰」という基本的考えに立ち、家庭・学校・地域が一体となって、『「豊かなところ」、「豊かな個性」、「豊かな夢」があふれるまち三豊市』の実現を目指し、市全体のネットワークを広げ、みずみずしいコミュニティを形成します。

また、市民一人ひとりが社会の一員として周りとの絆を深めていくため、感謝と自立心を持った人材の育成を進めていきます。

基本目標

1. 家庭・学校・地域が連携した教育環境づくり
2. 自ら学び、生きがいを創造する力の育成
3. 地域に根差した特色ある文化芸術の醸成
4. 楽しく気軽にスポーツに取り組める環境づくり
5. 次世代の担い手となる青少年の健全育成活動
6. 人権が尊重される住みよいまちづくり

主要施策

1. 家庭・学校・地域が連携した教育環境づくり

教育の第一義的責任は家庭にあり、家庭教育はすべての教育の出発点となります。子どもたちにとって心のよりどころとなる家庭を、関係機関や地域全体で支え、支援していく体制づくりに努めます。

また、三豊市の子どもたちがこれからの変化の激しい社会に対応できる自立心を培う、教育内容や心の健康づくりの一層の充実を推進していきます。

重点項目

- ◆ 家庭における、あいさつ・返事・整理整頓をはじめとする基本的生活習慣の習得
- ◆ 子どもの成長段階に即した、保護者への家庭教育に関する学習機会の提供
- ◆ 聴く力を大切にした学習指導による基礎・基本の確実な定着
- ◆ 保育所、幼稚園、小学校、中学校が連携した指導体制の強化
- ◆ グローバル社会に対応していくための外国語教育の内容の充実
- ◆ 特別な支援を要する子ども一人ひとりの発達状況に応じた教育の充実

2. 自ら学び、生きがいを創造する力の育成

市民一人ひとりが、あらゆる機会・場所において学習することができ、その成果を生かすことのできる力を育成します。また、学習や活動で得た知識・能力を生かし、豊かな地域づくりに貢献できる仕組みをつくっていきます。

さらに、公民館講座・教室等の多様な学習機会を効果的に活用し、地域との交流や仲間づくり等への積極的な参画を推進します。

重点項目

- ◆ 市民一人ひとりへの学習に関する情報の提供
- ◆ 地域間・世代間で取り組む学習機会の充実と交流の推進
- ◆ 様々な分野で活躍する人々の生き方を学ぶ機会の提供
- ◆ 地域ボランティア等による読み聞かせ活動の充実
- ◆ 豊かな想像力・感性を育むための読書活動の推進

3. 地域に根差した特色ある文化芸術の醸成

文化祭をはじめとした市民主体の文化芸術活動の活性化を促進していくとともに、子どもたちの感性や想像力がみがかれるような舞台や芸術イベントをはじめ、広く市民が良質な文化芸術にふれあうことのできる機会を提供します。

また、関係機関と連携をとりながら、指定文化財を後世に残し次世代に継承するため、適切な保護及び活用に努めます。さらに、状況に応じて埋蔵文化財の発掘調査を行い、歴史的財産の把握を行います。

重点項目

- ◆ 伝統行事等への積極的な参加をととした地域とのふれあいの推進
- ◆ 豊かな感性や情操を育む参加体験型学習等の実施
- ◆ 地域の人々を指導者とした、ふるさとの歴史・文化の伝承
- ◆ 地域の人・モノ・技術をととしたふるさと学習の推進
- ◆ 文化財の保存・活用と次世代への継承

4. 楽しく気軽にスポーツに取り組める環境づくり

市民が気軽にスポーツにふれあえるよう、市内スポーツ施設の有効活用や多様なスポーツ活動の普及促進に取り組みます。また、地域のスポーツ団体やスポーツクラブの活動をより充実したものにするための環境づくりや支援を行うとともに、様々な市民ニーズに応えるための指導者の育成・資質向上を目指します。

さらに、トップアスリートと地域におけるスポーツとの連携や県密着型プロスポーツの見学・スポーツ教室の参加を通じて、スポーツ振興の拡大を図ります。

重点項目

- ◆ 一定の運動習慣の定着と体力格差の是正
- ◆ 何事にもへこたれない、健やかな心と体を持った子どもの育成
- ◆ 規則正しい食生活と健康な体づくりを目指した取組の推進
- ◆ 郷土出身のトップアスリートを招へいしたスポーツ教室の実施
- ◆ スポーツをととした積極的な健康・体力づくりの推進

5. 次世代の担い手となる青少年の健全育成活動

青少年が健やかに育成されるよう、家庭・学校・地域・警察・関係団体と連携し、補導・相談・環境浄化など総合的な青少年健全育成活動に取り組めます。

また、市民が各種パトロール活動や見守り活動などに積極的に参画し、地域での防犯意識の向上や有害環境の浄化に努めるとともに、携帯電話やインターネット等を利用した犯罪、有害情報から青少年を守る啓発活動を実施します。

重点項目

- ◆ 青少年が健やかに育成される、安心・安全な地域づくりの推進
- ◆ いじめを許さない心を育むなど、規範意識や自立意識の向上のための体験活動・事業の実施
- ◆ 異文化を学び、受け入れるしなやかな気質を育む活動の実施
- ◆ 学校や地域でのあいさつ運動やふれあい活動の推進
- ◆ 情報機器に関する学習機会の提供など情報モラル教育の充実

6. 人権が尊重される住みよいまちづくり

日本国憲法の三大原則のひとつである、基本的人権（自由権、平等権、社会権、基本的人権を守る権利等）の尊重が私たちの社会をかたちづくっていることを深く認識し、人権問題を自分自身の問題として認識することができるよう、人権教育の充実を図ります。

また、現実存在するあらゆる差別やいじめを、主体的になくしていく力を持った人材を育成します。

重点項目

- ◆ 人権教育に対する理解と認識を深めるための研修会・講座の実施
- ◆ 地域と連携し、社会教育施設等における学習活動の充実
- ◆ 人権教育教材集、人権教育紙芝居などを活用することによる地域や学校間の人権教育の格差の是正及び解消
- ◆ 自分と周りを大切にできる自尊感情の育成

母国語推進事業の概要説明（学校教育課）

国語教育の現状と問題の概観

学力：全国学力調査成績はこの6年間は横ばい傾向（対全国平均 小: +3 点 中: ±0 点 程度）

授業：児童生徒が意欲的に学んでいるとは言い難く、また児童生徒が創意工夫を凝らす活動が十分にできているとも言い難い。

【参照資料】全国学習状況調査 質問紙 → 別紙資料 A 参照

問題の主要な原因（主に若手教員について）

1. 教員の母国語力の理解が漠然としている。
 - 母国語力とは何か・どんな要素から成り立つか、どうやれば読解ができるのかということについて、理解が曖昧な教員が少なくない【ヒアリング調査による分析】。
 - 「みとよメソッド」の展開（後述）を阻害しているのも、授業の学習目標設定の曖昧さにあると思われる。
2. 教員が、主体的で対話的な学びの姿をイメージできていない。
 - 主体的で対話的な学びや、探求学習の理想の姿をイメージできていない【ヒアリング調査による分析】。
 - 良い実践事例が身近に無いことや、日々の業務に追われていることがこのような状況を生んでいると考えられる。
 - この問題は、今後熟練教員が続々と退職していく中でより深刻化する懸念がある。

原因解消のための主要施策

1. 「みとよメソッド」の展開
 - 学校が継続的に「みとよメソッド」（別紙資料 B 参照）による授業研究を行い、その知見を三豊市横断で共有できる仕組みを構築する。令和元年度は、少数の学級で実践事例を作り、令和2年度のための仮設検証を行う。
 2. 正しい言葉を使う意識や言葉への興味を向上させる施策の検討と実施
 3. 独自の探求学習プログラムの開発と実施
 - 生徒会活動や総合的な学習の時間と連携して、探求学習プログラムを開発・実践する。令和元年度中に、初回プログラムを実施する。
- ※ これら施策をできる限り教員の負担を増やさない形で実行する。

理想の姿

1. 主体的・対話的な学びによって、母国語力が育成されている：子どもたちが対話・協力して自力で正解を見つけ出している、かつ、それを楽しんでやっている。
2. 言語能力を活用し、成長を実感する機会がある：子どもたちが、涵養した言語能力を実践的な場面（問題解決やプレゼンテーションなど）で活用することで、国語の学習が社会に出た後も活用できることを実感できている。

母国語推進事業の概要説明 別紙資料

資料 A 平成 31 年度全国学習状況調査の質問紙調査の国語と探求に関する項目で、「当てはまる」もしくは「どちらかという当てはまる」と答えた児童生徒の割合

※ 割合が 70%を下回っている事項を太字にしている。

※ 中学校については三豊市観音寺市学校組合立校を含む。

種別	質問項目	小学校		中学校	
		三豊	全国	三豊	全国
国語 意欲/態度	国語の勉強は好きですか	65.7%	64.2%	55.5%	61.7%
	国語の勉強は大切だと思いますか	92.5%	93.0%	90.9%	91.0%
	国語の授業の内容はよく分かりますか	84.6%	84.9%	71.5%	77.6%
	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	93.6%	91.2%	89.0%	88.0%
	国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	82.9%	76.9%	69.6%	71.6%
国語 技能/思考	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	81.4%	78.1%	77.7%	77.4%
	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	71.3%	68.5%	58.4%	64.4%
	国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか	75.3%	71.4%	67.1%	68.4%
探求 授業内容	総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいると思いますか	62.9%	65.7%	42.4%	61.5%

資料 B 「みとよメソッド」とは何か？

児童生徒が話し合いながら問題の答えを自力で見つけ出すための授業法である。具体的には、児童生徒にまず問題の答えを手掛かりなしで考えてもらった後に、先生から問題の回答例を複数提示する（ここには正解は含まれていてもいなくても良い）。そして、児童生徒にはその回答例を採点してもらい、その採点結果を班で共有し、議論して班の採点基準を作ってもらう。こうして児童生徒は、問題に協働して取り組み、解決していく過程から学びを得ることができる。

ふるさと三豊の地で 中学生が映画を制作しています

東京で活躍している著名な映画監督・脚本家・カメラマン等、プロの指導のもと「映画制作スクール」です。



◇本読みの指導を受ける

地元、三豊らしい温かい人間関係を伝えたい。

主催：三豊市教育委員会



◇各役割の確認をする

駄菓子屋のおばさんに扮する女優さんとの息を合わせた演技や映像の総合芸術を学びたい。



◇現場での演技指導を受ける

いよいよ、中学生が書き上げたシナリオが、深作監督の指導の下で映像化されます。演出、技術、制作の全てが中学生の手作り！女優「木内みどり」さんも趣旨に賛同いただき出演！ ・ ・ 地域での協力をお願いします。

＜予定＞

7月25日（木）～26日（金）・・・リハーサル

7月27日（土）・・・駄菓子屋（二ノ宮）での撮影・ロケ

7月28日（日）・・・駄菓子屋（二ノ宮）での撮影・ロケ

7月29日（月）・・・三豊市の各地でロケ



カマタマーレ讃岐

サッカークリニック (三豊校)

参加者募集!

開催日時：2019年8月1日(木)～

2020年3月26日(木)

毎週木曜日 19:00～20:30

開催場所：三豊市緑ヶ丘総合運動公園

緑ヶ丘サッカー場

対象・人数：三豊市内中学1年～3年生(定員30名)

会 費：月額/5,000円

主 催：株式会社カマタマーレ讃岐

後 援：三豊市教育委員会

指導者：氏名・経歴・資格



上村 健一 (45才)
元日本代表アトランタ
オリンピック出場
現カマタマーレ讃岐
トップチーム監督
JFA公認S級ライセンス



藤井 泰行 (49才)
横浜マリノスJYコーチ
横浜F・マリノス育成GKコーチ
関東学院大学サッカー部GKコーチ
関西国際大学サッカー部監督
JFAアカデミー福島GKコーチ
現カマタマーレ讃岐
トップチームGKコーチ
JFA公認GK-A級ライセンス



石原田 啓太 (36才)
ロアッソ熊本アカデミーコーチ
ロアッソ熊本テクニカルスタッフ
ロアッソ熊本トップコーチ
現カマタマーレ讃岐
トップチームヘッドコーチ
JFA公認A級ライセンス



松下 邦昭 (39才)
ロアッソ熊本アカデミーコーチ
エンフレンテ熊本コーチ
現カマタマーレ讃岐
トップチームコーチ
JFA公認B級ライセンス

※申込用紙は裏面



香川ファイブアローズ バスケットボールアカデミー ☆三豊校☆

生徒募集中！

無料体験実施中！

チャレンジを楽しむ！自ら考え行動できる力、自己成長力を育む！

アローズアカデミーでは、バスケットに関する技術向上のみでなく、バスケットを通じて、
礼儀・協調性・コミュニケーション能力・自己成長力（自ら考え行動できる力）・チャレンジする
ことの大切さを子どもたちに伝え、社会で必要な基礎を育みます。

三豊校スケジュール

月曜日（4回 / 月実施）	
三豊市豊中町体育館	
19:00～20:00	アドバンスクラス
20:10～21:10	中高生クラス
※持ち物 飲み物、タオル、着替え、バスケットのできる服装 体育館シューズ、バスケットボール（持っている方）	

※レッスン会場が異なる場合がございますので、予めご了承下さい。

◆アドバンスクラス：小学4年生～6年生（低学年は要相談。）

◆中高生クラス：中学1年生～高校3年生対象

◆入会について

月謝 5,000円 4回 / 月実施（スポーツ安全保険料込み）

クラブアローズ会員入会料 2,300円 / 年（会員カード発行手数料込み）

※アカデミー入会時にはクラブアローズへの入会が条件となっております。

☆特典

アカデミー生特別試合観戦 PASS

シーズン中の香川ファイブアローズ全ホームゲームを2階自由席で無料観戦できます！

（1階席等へのグレードアップはできません。）

◆お問い合わせ先

株式会社ファイブアローズ

TEL：087-813-7120

Mail：ak.arrows.1220@gmail.com 担当 菊池

年に一度の観音寺シリーズ

香川県



三豊市 ホームタウンデー



香川オリブ
ガイナース

VS

高知ファイティング
ドックス

背番号27 三好 一生(捕手)

【経歴】

香川県坂出市出身
附属坂出小～附属坂出中
～丸亀高校～駒澤大

地元香川県出身の三好一生
です。チームの総合優勝と
NPBからのドラフト指名
を目指して頑張ります！
年に一度の観音寺での開
催です。是非、球場にお越し
ください！

9月8日(日)

13:00試合開始

12:00開場



【会場】観音寺市総合運動公園野球場（観音寺市池之尻町1071）

背番号18 石田 啓介(投手)

【経歴】

香川県丸亀市出身
城辰小～丸亀南中～高松
商業～関西国際大

今シーズン入団した石田
啓介です。地元香川県の皆
さんに精一杯のプレーを
お見せします。

三豊市の皆さん是非球場
にお越しください！
応援よろしくお願ひ致し
ます！

三豊市在住の方 入場無料御招待

当日在住が確認出来る
書類をチケット売り場
にて提示下さい。

イベント情報 Information

爽郷やまもと連

よさこい演舞

試合前
イベント



ご来場者プレゼント

先着
50
名様

ガイナース
マフラータオル

(18歳以下対象)



熱中症対策に塩分タブレットを プレゼント！



塩分タブレット
(1人2粒)

香川県特産品などが当たるスピードくじ
(アンケート回答者対象)



三豊市特産品やガイナースグッズが当たる
5回終了後イベント



抽選会
OLIVE GUYNERS



【主催】香川オリブガイナース球団株式会社

〒761-8013 香川県高松市香西東町524-2 TEL:087-813-1466 FAX:087-813-1467

詳しい情報が満載!

<http://www.oliveguyners.jp>

オリブガイナース

検索

MAiZM[マイズム]はAI人材を育てます

プログラミング教室

初心者
向け

AI(人工知能)に必要なプログラミング。
プログラミングって何?どうやってやるの?と思っている方におススメ。
簡単なプログラミングソフト「Scratch」を使って気軽に体験できます。

対象 小学4年生～中学3年生

日時 2019. 7.13 (土)
10:00-11:30 / 13:30-15:00

定員 各回【先着】10名

参加費 1人 500円 ※当日集金します

会場 みとよ未来創造館 2階会議室B
〒769-0011 三豊市高瀬町下勝間2347番地1



同時開催
パネル展

場所: みとよ未来図書館

7.6^土-15^{月祝}

MAiZM
『AIとMAiZM』

AI(人工知能)やMAiZMに
関する情報をパネルで展示

入場無料

ご予約は
こちらどうぞ



※下記【問合せ先】からも予約可
希望日時、名前、学校・学年、保護者名、連絡先を
お知らせください。

【問合せ先】
一般社団法人みとよAI社会推進機構

MAiZM[マイズム]

TEL 0875-23-6120

FAX 0875-23-6121

MAIL info@maizm.or.jp

共催: みとよ未来図書館

MAiZM[マイズム]はAI人材を育てます



プログラミング教室

AI(人工知能)に必要なプログラミング。初心者向けの講座を企画しました。
プログラミングって何?どうやってやるの?と思っている方におススメ。
簡単なプログラミングソフト「Scratch」を使って気軽に体験できます。

対象	小学3年生～中学生	シニア向け
日時	2019. 7.25 (木) 9:00-11:00 13:00-15:00	2019. 7.26 (金) 9:00-11:00 13:00-15:00
定員	各回 先着10名	各回 先着10名
参加費	無料	1人 500円 ※当日集金します
会場	財田町公民館 大会議室 〒769-0401 三豊市財田町財田上2171	

脳トレに
いかがですか?



申込フォームも
ご利用ください

【申込方法】

裏面の申込書に必要事項を記入して、
下記の連絡先にFAX・メール・電話ま
たは申込フォームよりご連絡ください。

同時開催

AIパネル展

AI(人工知能)やMAiZMに
関する情報をパネルで展示

7.23^火～31^水

入場無料

【問合せ先】

一般社団法人みとよAI社会推進機構

MAiZM[マイズム]

TEL 0875-23-6120 FAX 0875-23-6121

MAIL info@maizm.or.jp

共催: 財田町公民館

設立以降の活動状況

月日	活動内容	人数
4月14日	小学生プログラミング教室	20人
5月10日	和光中学校のプログラミング体験教室	33人
6月3日	プログラミング教室 in うらしまキッズ	20人
6月9日、22日、29日	プログラミング体験会	26人
7月13日	プログラミング教室 in みとよ未来図書館	16人
7月14日、15日	ディープラーニング初級講座	100人
7月21日、27日	プログラミング体験会	28人
7月24日、31日	プログラミング教室 in うらしまキッズ	20人
7月25日、26日	プログラミング教室 in 財田町公民館	11人
8月1日	三豊中学校リーダーズ研修	29人
8月1日、7日、8日	プログラミング体験会	17人
8月7日	プログラミング教室 in うらしまキッズ	10人
8月22日～25日	AIサマースクール(東京大学)	40人
8月26日～30日	プログラミング教室 in 詫間町公民館	15人

TARA JAPAN との連携協定について

◆ 目的

海に流れ出た、大量のプラスチックごみが引き起こす、環境汚染が世界的な問題となっている。
地球規模で対応する緊急性が高まっている中、科学探査船「タラ号」を活用して世界中を航海し、気候変動や海洋環境の調査・研究を行う Tara Océan 財団の日本事務局「一般社団法人 TARA JAPAN」と連携し、栗島において、海洋環境教育の推進と、啓発活動を行い、瀬戸内エリア、全国へと展開し、関係人口・交流人口を拡大させることで、海洋環境の保全と離島振興につなげる。

一般社団法人 TARA JAPAN（2017 年設立）

代表理事：エティエンヌ・ブルゴワ（アニエスベーCOO）

◆ 協定内容

- ① 環境教育の推進や海洋環境意識の高揚、海洋環境の保全、人材育成などに関すること。
- ② TARA JAPAN の活動拠点を栗島海洋記念館内に置くこと。
- ③ 海洋環境展の開催に関すること。

締 結 日：令和元年9月3日（火）で最終調整中。

相手方出席者：エティエンヌ・ブルゴワ（アニエスベーCOO）

ローラン・パトゥイエ（アニエスベージャパン CEO）

日比野克彦（東京藝術大学美術学部長、栗島芸術家村ディレクター）

パトゥイエ由美子（TARA JAPAN 事務局長）

◆ 事業費等

TARA JAPAN との連携を構築・強化することは、本市の環境教育の充実のほか、環境面からの地域活性化、知名度向上につながることから、市はスタートアップ事業を共同実施する。

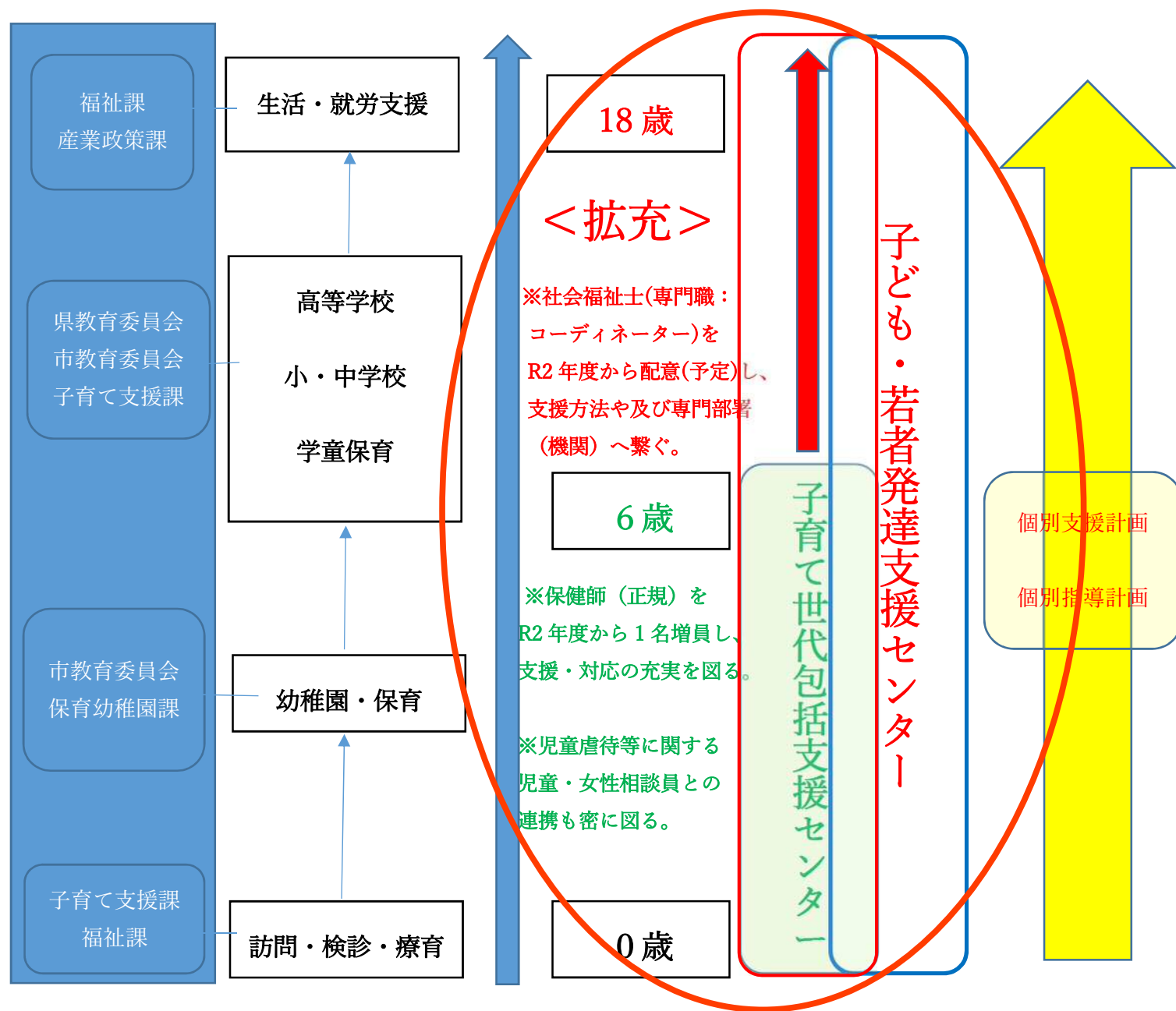
最終形は独立採算による運営であるため、時限的に行うものである。

【総事業費案】

	令和2年度		令和3年度		令和4年度		計
事業費（千円）	3,081		5,631		12,041		20,753
内訳（千円）	旅費	231	旅費	231	旅費	231	
	委託料	2,650	委託料	5,200	委託料	11,610	
	借上料	200	借上料	200	借上料	200	

費用負担は、今後 TARA JAPAN と協議を重ねていく。

なお、市負担分については、離島活性化交付金（国土交通省）のほか、ガバメントクラウドファンディングや企業版ふるさと納税の活用など、海洋環境問題に対する取組の輪を広げ、本市とつながる企業や人の増加に結び付けていく

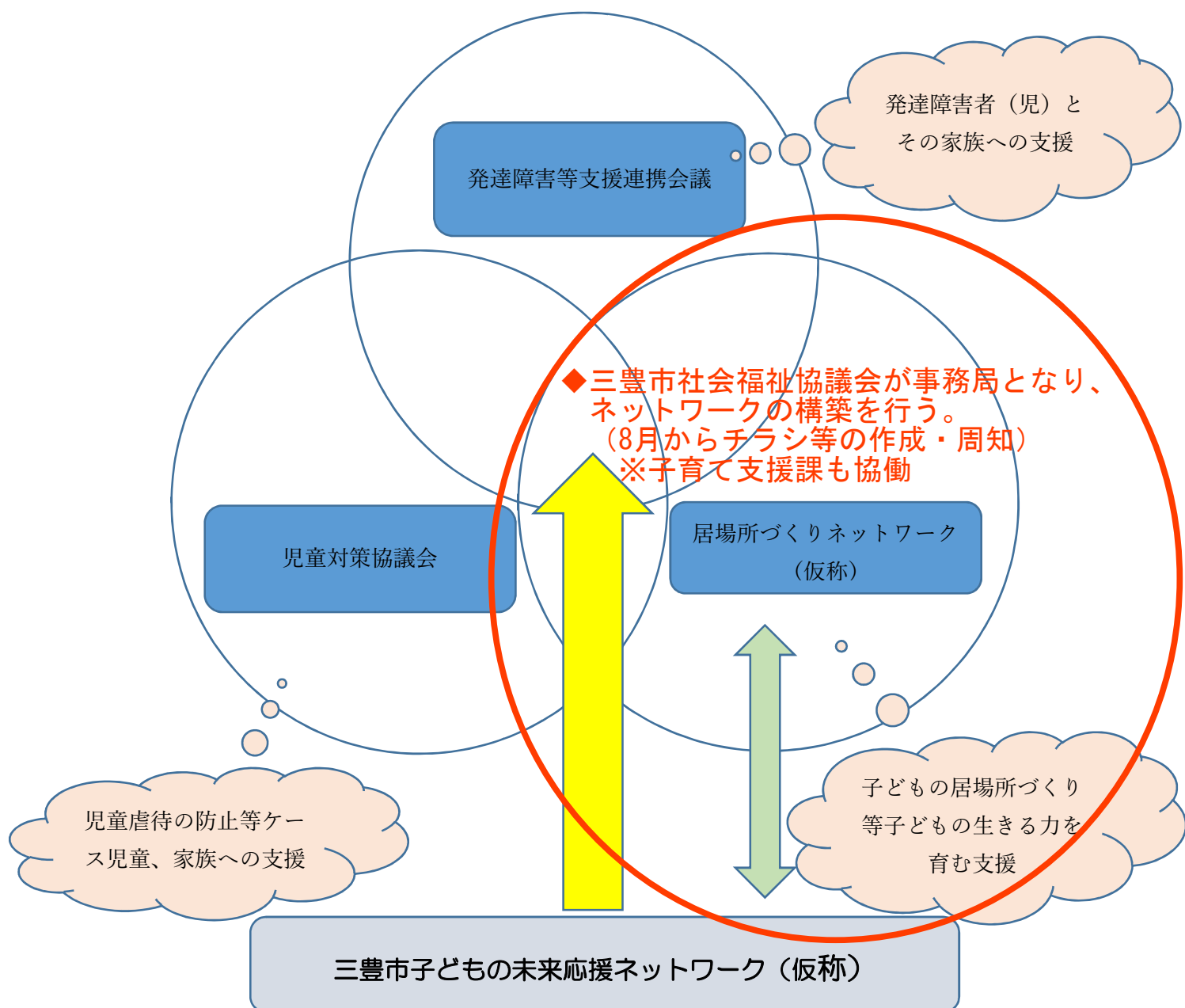


三豊市子ども未来応援ネットワーク(仮称)の構築

◆居場所づくりネットワークからの情報(情報共有)による支援も行う。

◆妊娠期から18歳までの子どもの支援を「子育て世代包括支援センター」で一元化し、新たに配置する社会福祉士が中心となり、コーディネーター的役割を担い、関係機関との連携・調整を図り、包括的支援を継続的に行えるよう検討していく。

◇子どもの居場所づくり等に関するネットワーク会議（仮称）



※別途子どもの居場所づくり（特に小学生の学習、生活支援等）にも取り組み、子ども食堂等の居場所づくり関連を行う民間事業者と協力し、官民共同の支援体制を構築する。

子ども未来応援ネットワーク（仮称）連携イメージ図

